

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月 7日更新

事務事業名		各種道路整備期成会等参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	九重 浩光
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	小山 可愛
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5252
予算科目		会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10001	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	集中豪雨や台風などによる河川決壊、高潮等による災害対策工事の国への要望、防災意識の向上と警戒避難体制、防災ボランティア活動支援など河川海岸災害防止を目的として平成13年7月に設立された。近年の異常気象により災害発生件数も増加傾向にある。しかし、現在の財政状況からハードの面において重要地点の優先順位から整備されている。 ・熊本県河川海岸防災協会 ・熊本県治水砂防協会負担金 平成28年度より(事業番号10001:各種道路整備期成会等参画事業へ事業名変更)し、各種期成会負担金を統合する。 ・熊本県河川海岸防災協会負担金、熊本県治水砂防協会負担金、県道路利用者協会負担金、日本道路協会負担金、九州国道協会負担金 ・菊池熊本間交通アクセス整備促進期成会負担金、熊本阿蘇幹線道路整備促進期成会負担金、地域高規格熊本環状道路建設促進期成会負担金、中九州地域高規格道路推進期成会、菊池地域道路整備協議会負担金、大津植木線バイパス建設促進期成会負担金
【業務の流れ】	総会への参加。情報の共有化。負担金の支払い。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO) 各種期成会、幹事会、総会に出席。中九州地域高規格道路推進期成会は、事務局として期成会運営を行い、国県や国会議員への要望活動を行った。大津植木線バイパス建設促進期成会は負担金の支払い、総会を開催し、県に要望書を提出した。		2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総会への参加。負担金の支払い。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 総会への出席	回	旅費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
河川・海岸災害防災対策の国への要望活動	→ ア: 要望箇所	箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
災害防止、災害復旧事業を促進できる。	→ ア: 要望回数	回
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
地域に密着した県、市町村が国へ要望を行うことで、状況の把握が出来、早期にハード面、ソフト面を併せ災害の未然防止に繋がる。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア	回	11	11	11	11	11	11	11	11	
	イ										
② 対象指標	ア	箇所	11	11	11	11	11	11	11	11	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	3	4	2	4	2	2	2	2	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	451	435	731	663	685	685	685	685
		(A) 事業費計	千円	451	435	731	663	685	685	685	685
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	6	7	6	8	6	6	6
	延べ業務時間		時間	1,120	1,570	1,030	1,726	1,030	1,030	1,030	1,030
	(B)人件費計		千円	4,430	6,188	4,103	6,840	4,103	4,103	4,103	4,103
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,881	6,623	4,834	7,503	4,788	4,788	4,788	4,788	

事務事業名	各種道路整備期成会等参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 国への要望活動、並びに情報の共有化は実施できた。しかし、要望に対する国の対応は財政面等において厳しい状況である。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 可能な限り積極的に要望活動等に取り組んでおり向上の余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似団体はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県下全市町村が負担をしており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 総会への参加、負担金の支出であり、正職員以外では対応できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民の安全を確保するもので、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員は、行政団体であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

総会への出席や負担金を支払い協会参画の意義とともに参画自治体との共有化が図れた

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							